

玉名市

玉名市～水と花と石橋のた たずまい

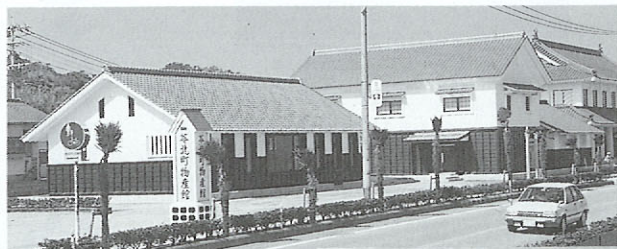
くまもと景観奨励賞を受賞、県立劇場の鈴木館長もその景観を賞賛されたことで、県内外に知られるようになった玉名市高瀬の裏川筋。6月には6千3百株の肥後花しょうぶが咲き誇り、訪れる人を楽しませます。特に今年は「りばあさいごコンサート」も開かれ好評でした。現在、下流の整備計画も策定中、市民の憩いの場としてますます人気が高まりそうです。



ライトアップされた花菖蒲

苓北町～物産館オープン

徳川幕府時代、天草の政治・文化の中心として繁栄、現在も富岡城址を中心に遺跡が多く残る苓北町に物産館がオープンしました。富岡城ゆかりの御上米倉をデザイン、物産館に連なる公衆トイレ・商工会館もすべて富岡城のイメージ、産業・観光両面から特色あるものとして期待されています。



白壁土蔵づくりの物産館

苓北町

益城町

益城町～町民憩いの家オー プン

これまでの「老人憩いの家」が、サウナ室などの各種浴や80畳和室などの多目的施設を備えた「町民憩いの家」として5月15日オープン。老若男女を問わず、町民はもちろん町外からも広く利用されています。また、毎月1回、医師・保健婦の健康相談も実施されており好評です。



リフレッシュした「町民憩いの家」

合志町～中世の竹迫城址を 再現、公園化へ

中世城址と竹の町である合志町にユニークな公園が完成。園内には、世界の竹を集めた竹植物園や町の歴史が一目で分かる歴史広場等があり、町民の憩いの場となっています。また、園内を流れる川はホテルの里100選に選ばれており、夏の夜のひとときを楽しませてくれます。



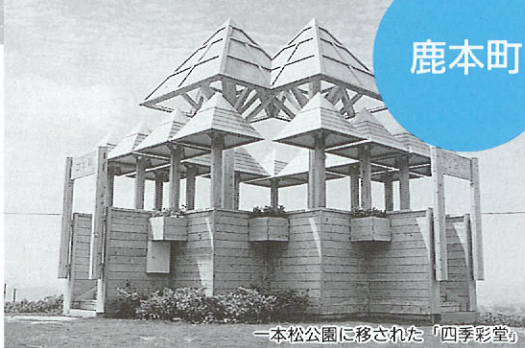
園内の堀に架けられた寛永堀橋

合志町

鹿本町

鹿本町～人気抜群の四季彩 堂

昨年の「国際花と緑の博覧会」に熊本県が出展、コンテストでモニュメント部門の金賞に輝き大好評だった「四季彩堂」。今はここ鹿本町の一本松公園でその姿を披露しています。ここからの眺めはバツグンで、訪れた人も「また来たい」と、大人気の四季彩堂です。



一本松公園に移された「四季彩堂」

芦北町

芦北町～浴衣姿での夕涼みが楽 しい「湯の香橋」5月18日開通式

湯浦温泉街に流れる湯浦川に渡ることが楽しくなるような素敵な橋が完成、温泉街のシンボルとして町民や湯治客の人気を呼んでいます。夜間は、足元からの照明で、歩く人のシルエットが障子廊下のように浮かぶという情緒豊かな「湯の香橋」。川岸に下りて水遊びもできるようになっており、この夏は訪れる人で賑わいそうです。

「くまもとアートポリス」参加作品。



ライトアップされた「湯の香橋」

水上村



四季折々の景観が美しい大吊橋

大自然「阿蘇」のやすらぎ の場「阿蘇中央公園」

内牧温泉街を流れる黒川の旧河川を整備した、日本庭園風の「阿蘇中央公園」が開園しました。噴水の周りには黒鳥やアヒルがおり、観光客や住民を楽しませてくれます。また肥後菖蒲、紫陽花、桜、銀杏など季節の花木が楽しめる遊歩道や数寄屋造りの茶室などもあり、やすらぎの場となっています。



阿蘇中央公園

阿蘇町

龍ヶ岳町

龍ヶ岳町～今、山頂はちょっと したリゾート感が味わえる。

今、龍ヶ岳山頂がおもしろい。天文台、フィールドアスレチック、テニスコート、バンガローなどが整備されており、ちょっとしたリゾート地。創作民話のストーリーをもとに560㎡、25ポイントの競技ができるフィールドアスレチックは、適度な運動で、体力の維持、精神的なストレス解消ができます。



龍ヶ岳山頂フィールドアスレチック

水上村～白水滝を眼下に山 ひだを縫う大吊橋

球磨川の源流に近い、九州中央山地の奥深い山紫水明の地に、長さ120mと164mの2つの大吊橋が完成。橋から見おろす「白水滝」春から初夏の右衛門花と新緑、秋の紅葉など四季折々の景観が楽しめます。

南関町～「古小代の里」古窯保存 のための「おい屋」が完成

「小代焼」のメッカとして知られる南関町宮尾地区。ここに現存する、江戸時代に構築された2つの古い登り窯（瀬上窯～せのうえがま、瓶焼窯～かめやきがま）の「おい屋」が完成。当地の窯元の活性化や文化遺産の保護に大きく寄与するものと期待されています。



「小代焼」の歴史を保護する「おい屋」

南関町